



熊本市立大江小学校

ときめき

2022.10.19(水)

No. 92



文責
松永

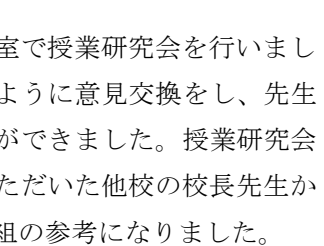
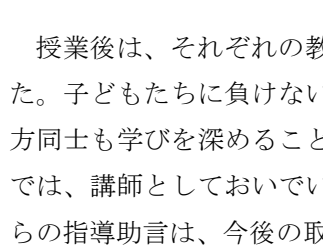
10/13 道徳・学級活動の研究授業がありました

熊本市教育センター研究モデル校として、道徳科と特別活動（学級活動）を中心に研究実践を進めていて、週に一時間ずつある授業実践を大事にしています。その指導法について先生方が学び合う場として取り組む研究授業がこれから続きます。10月13日（木）には、道徳の授業が4年1組の城戸学級で、学級活動の授業が1年2組の野口学級で行われましたが、積極的に発言する姿や真剣に意見交換する場面など、積極的に授業に臨んでいる子どもたちの様子が見られ、集中してがんばる姿に感心しました。

城戸学級の道徳は、資料「遠足の朝」を使って、善悪の判断について考える授業内容でした。資料を読んだ後に、仲間はずれにあって友達の様子を見て、心配だから誘いたい、でも周りの目も気になると、誘うかどうかで揺れ動く主人公の気持ちをもとに考えていきました。そして、遠足の日の朝に、勇気を出して声をかけた友達が笑顔になっているのを見た主人公は、自分が正しいことをしてよかったという思いになります。「なぜ、満足感や達成感を感じることができたのか？」という先生の問いに、子どもたちはいろいろな考えを出しました。授業後の感想には、「正しいことをすることの難しさを知った。勇気が必要だと感じた。」「積極的に正しいことを行っていこうと思った。」といった声が聞かれました。



野口学級の学級活動は、そうじについて考える授業内容でした。1年2組はエコピカ委員会から「おそうじ名人」として、これまで数回がんばりを認めてもらうという経験をしています。担任として、今のそうじへの取り組み方が満足することなく、レベルアップしてほしいという思いがあり、今回「スーパーおそうじ名人」を目指そうという課題で考えていきました。あらためて、そうじをするとどんないいことがあるのかを考え、もう一段階レベルをあげるためにどうしたらいいかを、上学年からのアドバイスや2年生のそうじしている映像なども参考にしながら、子どもたちの意見交換を通して見つけていきました。最後に、「スーパーおそうじ名人」になるために自分ががんばりたいことを決めた子どもたちです。実践が楽しみです。



授業後は、それぞれの教室で授業研究会を行いました。子どもたちに負けないように意見交換をし、先生方同士も学びを深めることができました。授業研究会では、講師としておいでいただいた他校の校長先生からの指導助言は、今後の取組の参考になりました。